

付表5 外来種（動物）に対する対策事例

No.	対象種	都道府県	地域	期間	規模	事業主体	費用	事業概要	効果の内容	文献等
1	アライグマ	北海道	各地	平成9年度～	全域	北海道	平成11年度 1000万円 平成12年度 4400万円 平成13年度 4074万円 平成14年度 2988万円 平成15年度 2538万円 平成16年度 4677万円	・アライグマの捕獲、駆除 ・普及啓発 ・野生化防止	捕獲頭数は増加しているが、生息情報がある地域は拡大している。 捕獲数 平成11年度 489頭 平成14年度 1022頭 平成16年度 1284頭	移入哺乳類への緊急対策に関する大会決議 アライグマ対策基本方針
2	アライグマ	大阪府	府下全域	平成16年	全域	大阪府		大阪府アライグマ被害対策検討委員会設置要綱が施行。 箱型ワナで捕獲、炭酸ガスで処分する。	・新聞切り抜き ・ホームページ	
3	ヌートリア	イギリス	各地	1962～1989			13年間で500万ポンド	1962年から3年間の駆除、1981年からワナによる捕獲により1989年根絶に成功。	17年間かけて根絶に成功	New Scientist(1989)p.44-49
4	コクチバス	栃木県	中禅寺湖	平成7年度～	—	栃木県 中禅寺湖漁協	平成11年度 約600万円 平成12年度 約400万円 平成13年度 約300万円 平成14年度 約220万円	6月～8月潜水調査+水中中による駆除を実施。その他に地引き網による捕獲を実施。	コクチバス繁殖の抑制	河川における外来種対策の考え方とその事例—主な侵略的外来種の影響と対策—(外来種影響・対策研究会,2003) p76
5	コクチバス	群馬県	奥利根湖、駒元湖、藤原湖	平成12年度～平成14年度	—	群馬県 利根漁協	年間700万円を漁協に委託 制網150基 作業員のべ500人 ダイバーのべ100人	刺網、延縄、竿釣、水中銃による制御の捕獲	効果なし	河川における外来種対策の考え方とその事例—主な侵略的外来種の影響と対策—(外来種影響・対策研究会,2003) p77
6	ブラックバス	青森県	—	平成15年度	—	青森県	150万円	8箇所を溜池で駆除を実施	一部で個体数が減少	ブラックバス・ブルーギルが在来生物及び生態系に与える影響と対策(環境省,2004) p70
7	ブラックバス	秋田県	羽後町足田堤溜池	平成14年度	—	秋田県 羽後町 釣り団体 水産センター 地元住民	26人 250万円	羽後町足田堤溜池で駆除を実施	—	ブラックバス・ブルーギルが在来生物及び生態系に与える影響と対策(環境省,2004) p72
8	ブラックバス	宮城県	伊豆沼・内沼	平成13年度～	—	宮城県内水面水産試験場 宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団 宮城県産業経済部漁業振興課 宮城県環境生活部自然保護課 伊豆沼漁業協同組合		・オオクチバスの駆除 ・駆除手法開発実験 ・ゼニタゴ還元プロジェクト	2003年以降モツゴ、ヨシノボリ類の稚魚が出現し、小型魚は回復傾向にある。	ブラックバス・ブルーギルが在来生物及び生態系に与える影響と対策(環境省,2004) p97
8	ブラックバス	福島県	県内の溜池	平成13年度～平成15年度	—	福島県	平成13年度 約570万円 平成14年度 約520万円 平成15年度 約560万円	生息調査、駆除作業の助成、拡散防止の普及啓発	—	ブラックバス・ブルーギルが在来生物及び生態系に与える影響と対策(環境省,2004) p73
9	ブラックバス	茨城県	霞ヶ浦	平成8年度～平成14年度	—	茨城県 霞ヶ浦漁連	平成8年度 約250万円 平成9年度 約250万円 平成10年度 約380万円 平成11年度 約430万円 平成12年度 約500万円 平成13年度 約500万円 平成14年度 約730万円	ブルーギルの駆除	—	ブラックバス・ブルーギルが在来生物及び生態系に与える影響と対策(環境省,2004) p74
10	ブラックバス ブルーギル	東京都	皇居外苑濠	平成13年度～平成16年度	皇居外苑濠	環境省皇居外苑管理事務所	平成13年度 約799万円 平成14年度 約799万円 平成15年度 約808.5万円	検討会設置、文献調査、底質調査、駆除作業、捕獲実験、モニタリング	駆除後ブルーギル1尾が確認されたがオオクチバスは成魚、と魚とにも確認されていないことからほぼ根絶されたと考えられる。	ブラックバス・ブルーギルが在来生物及び生態系に与える影響と対策(環境省,2004) p117
11	ブラックバス ブルーギル	京都府	深泥池	平成10年度～平成16年度	—	京都市文化財保護課が「天然記念物深泥池生物群集保全事業にかかる生物群集管理事業」の一環として実施。	平成14年度 約500万円 平成15年度 約500万円 平成14年度からは河川管理財団の助成	・ブルーギル、オオクチバスの駆除。 ・えり網による魚類調査 ・ブルーギル、オオクチバス、カムルチーの個体数推定調査 ・産卵床調査と産卵床の破壊 作業は研究者や地元住民を委嘱「深泥池水生生物研究会」に委託。	オオクチバスは減少ブルーギルは1998年から2000年にかけては減少したがその後増加。ただし、今後の予測では今後も駆除を続ければ減少すると予測されている。	ブラックバス・ブルーギルが在来生物及び生態系に与える影響と対策(環境省,2004) p91
12	ブラックバス ブルーギル	島根県 平田市	市内の河川・ため池	条例施行 平成15年度～	—	島根県平田市民生部環境保全課		「平田市在来生態系保護条例」の施行 オオクチバス及びブルーギルを特定外来魚とし再放流の禁止、駆除等を定めている。	—	ブラックバス・ブルーギルが在来生物及び生態系に与える影響と対策(環境省,2004) p127

付表6 外来種（植物）に対する対策事例

No.	対象種	都道府県	地域	期間	規模	事業主体	費用	事業概要	効果の内容	文献等
1	ハリエンジュ	北海道	豊平川	数年	100㎡	北海道開発局札幌河川事務所	—	高水敷に繁茂したハリエンジュの効果的な駆除の方法検討	伐採後、切り口に除草剤を塗布すると好成果が得られた	河川における外来種対策の考え方とその事例—主な優格的外来種の影響と対策—（外来種影響・対策研究会,2003） p24
2	ハリエンジュ	東京都	多摩川	平成12年度～	2.0km程度	永田地区植生管理計画検討会 国土交通省 研究者 地元市民団体 市町村	—	ハリエンジュ樹木の除去、カワラノギクに代表される豊河原環境の再生 ハリエンジュの除去 砂礫河原の造成 カワラノギクの播種 オオブタクサの管理 ハリエンジュ萌芽の抜き取り	ハリエンジュの伐採と伐根、細粒土砂のハギ取りを実施した場所では伐採のみを行った箇所よりハリエンジュの再生は少ないことを実証。	河川における外来種対策の考え方とその事例—主な優格的外来種の影響と対策—（外来種影響・対策研究会,2003） p25-26
3	アレチウリ	長野県	天竜川、三峰川流域	平成11年度～	—	三峰川アレチウリ駆除大作戦実行委員会 三峰川沿江市町村 長野県 国土交通省 漁協 商工会	年一回 400人のボランティアが参加	年一回ボランティアによるあれちうりの抜き取り駆除作業を実施。インストラクター養成。	「アレチウリが外来種であり、河川環境に害を及ぼしている」という認識を高めている。駆除自体の効果も上がり始めている。	河川における外来種対策の考え方とその事例—主な優格的外来種の影響と対策—（外来種影響・対策研究会,2003） p29-30
4	アレチウリ	新潟県	信濃川流域 十日町市付近	平成10年度～	—	国土交通省 十日町市 水辺の楽校活用協議会	ボランティア	年1回7～8月に100人程度のボランティアが1.5時間程度の抜き取り作業を実施	駆除すべき生量量の減少	河川における外来種対策の考え方とその事例—主な優格的外来種の影響と対策—（外来種影響・対策研究会,2003） p33-34
5	オオブタクサ	埼玉県	上尾市平方	平成13年度～	6500㎡	国土交通省 市民団体	ボランティアであるためほとんどかからない	2ヶ月に1回管理作業決定のためのミーティング 月2回程度の複数の市民団体が伐根除去	—	河川における外来種対策の考え方とその事例—主な優格的外来種の影響と対策—（外来種影響・対策研究会,2003） p38
6	セイタカアワダチソウ オオブタクサ アレチウリ カキネガらし ハナウド ナウシロイチゴ カナムグラ ※サクランボ自生地	埼玉県	さいたま市 田島ヶ原	平成8年～平成12年度	377～4710㎡	特別天然記念物田島ヶ原サクランボ自生地保護増殖実験調査検討委員会 浦和市教育委員会 学識者	—	7種の除去対象種に対してその繁茂状況と駆除、駆除個体の記録	オオブタクサの減少	河川における外来種対策の考え方とその事例—主な優格的外来種の影響と対策—（外来種影響・対策研究会,2003） p39-40
7	セイタカアワダチソウ	宮崎県	全域	平成7年度～	—	セイタカアワダチソウ対策検討会議 宮崎県庁関係各課	—	各構成員で検討の上、可能な範囲の駆除を果ぐるみで行っている。また、地域住民に対する啓発も実施している。	—	河川における外来種対策の考え方とその事例—主な優格的外来種の影響と対策—（外来種影響・対策研究会,2003） p43-44
8	ホテイアオイ	徳島県	旧吉野川、今切川	昭和60年度～	—	国土交通省	—	大発生したホテイアオイの除去	異常発生の減少、船舶への影響・橋門発への影響軽減	河川における外来種対策の考え方とその事例—主な優格的外来種の影響と対策—（外来種影響・対策研究会,2003） p48
9	ホテイアオイ	岐阜県	大江川 東大江川 福江川 中江川	平成13年度～	—	高須輪中水草対策検討会 岐阜県 国土交通省 地域住民 海津町、平田町 学識者	平成11年度 35000㎡ 約200万円 平成12年度 16000㎡ 約90万円 平成13年度 年4回 約95万円 平成14年度 年6回約100万円 のべ船 148台 237人	船に3～4人が乗船し、タモ、手作業でホテイアオイをすくい、岸に上げる	異常発生の抑制	河川における外来種対策の考え方とその事例—主な優格的外来種の影響と対策—（外来種影響・対策研究会,2003） p49-50
10	イネ科牧草	東京都	葛飾区金町 江戸川堤防	平成7年度～	3530㎡ ※シバ張り替え	国土交通省	シバ張り替えに1400万円	ジョギングコースで発生する花粉症対策のため、除草回数を増加させ、開花前の除草を実施。ジョギングコース沿いの堤防をシバに張り替え	花粉症の軽減	河川における外来種対策の考え方とその事例—主な優格的外来種の影響と対策—（外来種影響・対策研究会,2003） p58